

2月7日は「北方領土の日」 特別啓発期間中の署名にご協力を

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

日露関係の現状は、ロシアによるウクライナ侵略により厳しい状況にあり、平和条約交渉や北方四島交流等事業の今後を見通すことができない状況です。こうした厳しい情勢にあるからこそ、これまでの返還要求運動の歩みを止めることなく、国民一丸となった世論の喚起が何より重要です。

このことから、国の外交交渉を後押しする道民世論のさらなる結集を図るため、2月7日の「北方領土の日」を中心に、北海道独自の取り組みとして「北方領土の日」特別啓発期間を定め、北海道と市町村、関係団体が連携し、一層強力に北方

領土問題の啓発活動を展開することとなりました。

北方領土問題についての理解をさらに深め、返還要求運動へ積極的に参加くださいますようお願いいたします。本町の取り組みとして、役場に署名窓口を設置しますので、署名にご協力をお願いします。

○実施期間

1月21日（火）～2月20日（木）

○署名窓口

役場庁舎 1階多目的スペース

▼お問い合わせは、役場総務・防災課総務係（01372-7-2111）へ。

冬道では安全運転を心掛けましょう

これからの時期は、突然の降雪、吹雪による視界の悪化が原因の交通事故や路面凍結など、路面状況の変化によるスリップ事故が発生する恐れがあります。お出かけの際は、天気予報や道路情報等を確認し、悪天候が予想されるときは不要不急の外出を避けるなど、交通事故防止に努めましょう。

○出発の前に

- ・できるだけ明るいうちに到着するよう、余裕を持った予定を立て、到着時刻やルートをあらかじめ家族や訪問先に伝えておきましょう。
- ・目的地までの天気・道路状況を、テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等で確認しましょう。
- ・大雪や吹雪で視界が悪く、運転が困難だと予想される際は、出発時刻の変更や公共交通機関の利用などを検討しましょう。

○スリップ事故防止のために

- ・橋の上やトンネルの出入り口付近は速度を落とし、ハンドルをしっかり握って走行しましょう。
- ・カーブではゆっくり操作しましょう。
- ・日暮れから翌朝までは、スリップ事故が起きやすいので注意して走行しましょう。
- ・車間距離を取り、ゆっくりとした速度で走行しましょう。

○危険を予測した運転を

- ・雪山の陰からの急な横断歩行者や、視界不良時の歩行者などに十分注意しましょう。
- ・路面状態が悪く、横断には時間がかかるほか、横断中に転倒する歩行者もいるかもしれないので、危険を予測した安全運転に努めましょう。

町内で発生している交通事故のほとんどが物損事故で、その大半が運転手の不注意によって発生しています。車に乗ったら気を引き締めて安全運転をしましょう！

▼お問い合わせは、役場民生課住民係（01372-7-5290）へ。